

令和6年度 下田高校部活動ガイドライン

1 部活動における本校の教育目標の位置付け

教 育 目 標	伊豆半島南部における高校教育の総合的・包括的拠点校というスクール・アイデンティティを掲げ、何事にも誠実に取り組む「至誠」と広く日本や世界で活躍する「雄飛」、及び地域のために尽くす「献身」をこころざしにできる人間を育てる学校を目指す。そのために、生徒を大切にし、知・徳・体の人間性を練磨して、進路実現と自己実現を図る。
目標具現化の柱	◎主体的、能動的に学ぶ力の育成 ○個々の生徒のメンタル強化 ・部活動指導の徹底と活性化を図るとともに、体調管理・メンタル強化の側面から、学校を休まない指導をする。 ・日々の体調管理を意識させ、心身の強化のため朝食摂取率100%を目指す。

2 部活動の取組内容と成果目標

区 分	目 標
活動内容と具体的な取組	○計画的で効率的な練習を行うように努める。 ○日頃の活動や大会等への参加を通して、目標に向かって努力する態度と基礎的な実践力を養う。 ○平日は午後7時30分完全下校とし、家庭学習時間の確保に努める。 ○週休日の活動時間は3時間程度、長くとも4時間程度とする。 ○年間100日の休養日を設けるように努める。 ○各部活動計画の保護者への通知を徹底する。
成 果 目 標 (昨 年 度 ま で)	○「部活動に積極的に参加している」の評価が「十分できている」及び「できている」と答える生徒が80%以上。(学校評価アンケート) ○県大会レベルの大会に出場する部活動数が13部活以上。 ○「2時間以上の家庭学習時間を確保している」と答える生徒が80%以上。(各種調査)

※運用上の留意点

試合期等でまとまった練習等の時間が必要な場合や、週休日に練習試合を計画している場合等は柔軟な対応を可能とする。この時、月間活動計画に記載されてなく、変更を余儀なくする場合には、適切に保護者や生徒等に示すこととする。

3 部活動の活動計画表等の作成及び公表

年間活動計画・月間活動計画を作成し、年度または月初めに生徒に配布する。